

茨城県、茨城県教育委員会、水戸地方法務局、茨城県人権擁護委員連合会では、県民の皆様に広く人権について考えていただくため、人権メッセージを募集しました。

■対象者：茨城県在住・在勤・在学者

■応募作品数：100,691 作品（募集期間：令和元年 6 月 1 日～9 月 13 日）

最優秀グランプリ賞(1点)

◆最優秀グランプリ賞に選出された日向 心さんの作品は、12 月の人権週間に県内の電車・バスの車内広告に使用します。

高等学校部門

茨城県立岩瀬高等学校 1 年

ひゅうが こころ
日向 心

「相手が言葉のナイフを出してきても、自分は言葉の花束で返す。」私の好きな人の言葉です。ある日私は、酷いことを言われたことがありました。辛かったです。でもそんな時、この言葉に出会い、私は救われました。言葉がもつ力は強力です。簡単に相手を傷つけることができます。でも逆に相手を助けることもできます。だから私はどんな時でも「言葉の花束」を送りたいと思います。

最優秀賞(5点)

小学校低学年部門

筑西市立伊讃小学校 1 年

しも しょう なな み
下 条 七 海

わたしは、みんなとおしゃべりをするのがにがてです。かんがえていることをことばにできません。でも、しょうがつこうのおともだちやせんせい、みんなとてもやさしくしてくれます。だからがつこうがだいすきです。らいねんにゆうがくしてくるしん1ねんせいにもおなじようにやさしくして、なかよくなりたいです。あいさつはとくいなので、あいさつからはじめたいです。そして、わたしとおなじようにがつこうがだいすきになってくれたらうれしいです。ひとにやさしくして、えがおいっぱいになりたいです。

中学校部門

水戸市立笠原中学校 3 年

ぐん じ かん な
郡 司 楓 菜

「障がいがあるなんて不幸ね。」障がいのある人に向けられる冷たい視線と冷たい言葉。「普通じゃない」その「普通」とは何か。私には耳の不自由な友達がいるが、耳が不自由なのを忘れさせられるくらい明るい前向きな子だ。その子といくと自然と笑顔になれる。だから、人には普通、普通じゃないは無いと思う。みんな同じ「人」なのだから。私は将来特別支援学校の先生になって障がいの有無なんて関係ないことをみんなに知ってもらいたい。障がいがあっても何一つ、人としては変わらないこと、時にはその人達の笑顔や前向きな気持ちに救われるのを、私は知っているから。

小学校高学年部門

土浦市立新治学園義務教育学校 4 年

もと はし ひ な
本 橋 日 菜

人権ってなあに？ってママに聞いたら、ママもよく分からないんだって。でも、日本の人も外国の人もけんこうな人も体の不自由な人も朝起きたら「おはよう」ってあいさつするし、ねる時は「おやすみ」。誰かに「ありがとう」や「ごめんなさい」って自分の気持ちをおたがいに伝え、受け止めることができるのは人間だけかもね。そういうのを大切にすることが人権を守ることなんじゃないかなあって言ってた。やっぱり人権ってよく分からないけど、自分の気持ちや相手の気持ちを大切にすることなのかな。

特別支援学校部門

茨城県立水戸高等特別支援学校 高等部 2 年

ふじ た はる のり
藤 田 治 憲

「だいじょうぶ」僕が安心する言葉です。悲しくて泣いてしまった時、さみしい時、友達がやさしく声をかけてくれます。初めて、高校生活が始まった時、どんな時も「だいじょうぶ」と先生は伝えてくれました。初めて、寄宿舎生活に入った時、友達や先生が「だいじょうぶ」と励ましてくれました。僕は、みんなから「だいじょうぶ」「だいじょうぶ」と言われて楽しい高校生活を送って二年目になりました。来年は三年生。今度は僕が後輩に「だいじょうぶ」「だいじょうぶ」と言える人になりたいです。

一般部門 龍ヶ崎市 岡 澤 町 子

歩こう 歩こう 私とあなた、手と手をつないで歩いていこう もし、あなたが悩み 苦しんでいたら、そのときはそっと手をさしのべ助けるよ もし、あなたが歩くのに疲れてしまったら、そのときはあなたのペースにあわせるよ あなたは ひとりじゃない 私がいるよ だから「自分」に負けないで ゆっくりゆっくり一歩一歩 未来へ向かっていっしょに進もう 歩こう 歩こう 明日の未来へ…